

平成 26 年度 第 1 回 北見市上下水道審議会開催結果

開催日時	平成 26 年 7 月 28 日 (月) 午後 2 時から
開催場所	北見市役所桜町仮庁舎 入札室
出席委員	堀内委員、小作委員、山本委員、小関委員、尾崎委員、大前委員、山田委員、松田委員、辻委員、小室委員、市川委員、三原委員 (計 12 名)
欠席委員	葛西委員、中野委員 (計 2 名)
理事者側	渡部公営企業管理者、今企業局長、清水企業局次長、浦澤企業局次長、田中水道課長、下出企業局主幹、黒川下水道課長、佐藤浄化センター所長、横尾浄水場長、伊藤経営企画課長、磯部料金センター課長 経営企画課：水落財務担当係長、永山経理担当係長 水道課：村井計画担当係長、高木施設第 1 担当係長 下水道課：寒河江計画担当係長、二俣施設担当係長 端野上下水道課：高橋上下水道課長 常呂上下水道課：本所上下水道課長 留辺蘂上下水道課：菅原上下水道課長 事務局 (総務課)：脇総務担当係長、森谷 (計 22 名)
清水次長	会議に入ります前に、私ども企業局におきまして、4 月 1 日付けで職員の異動がございましたので、自己紹介をさせていただきます。 (4 月 1 日付の人事異動に伴う自己紹介) 【挨拶】 企業局長 技術次長 事務次長 料金センター課長 浄水場長 留辺蘂上下水道課長
清水次長	本日の委員の出席状況でございますが、葛西委員・中野委員は欠席される旨、また市川委員につきましては遅参される旨のご報告を頂いております。委員の皆様様の出席が過半数を超えておりますので、北見市上下水道審議会条例第 7 条第 2 項の規定によりまして、本審議会が成立していることをご報告させていただきます。 それでは、これより平成 26 年度第 1 回上下水道審議会を開催いたします。開会にあたりまして、渡部公営企業管理者からご挨拶申し上げます。
渡部管理者	【挨拶】
清水次長	続きまして、堀内会長よりご挨拶をお願いいたします。
堀内会長	【挨拶】
清水次長	ありがとうございました。それでは、これからの議事進行につきましては会長に

お願いいたします。

堀内会長 それでは早速会議に入らせていただきます。本日の会議時間ですけれども、概ね1時間を目途に予定させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、お手元の資料に従い進めてまいります。1件目の議題、平成25年度決算見込みの概要について、事務局から説明をお願いいたします。

伊藤課長 経営企画課長の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。
それでは、企業局が所管いたします、水道・下水道事業会計の平成25年度決算見込みの概要につきまして、お手元の審議会資料によりご説明いたします。決算につきましては、監査委員の審査に付し、9月開会予定の第3回定例市議会に提出する予定となっておりますので、現時点では、あくまでも決算見込みでございますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。また、正式な決算説明書につきましては、現在作成中でございますので、今回はお配りすることができませんのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

【<審議会資料>1.平成25年度決算見込みの概要について(P1~2)により説明】

高木係長 【<プロジェクター>広郷浄水場天日乾燥ろ床建設工事について説明】

堀内会長 ただいま水道事業について説明がありましたけれども、ご質問・ご意見等ありましたらご発言をお願いします。何かございませんでしょうか。

私の方から。決算の状況は、見込みは大体分ったんですけれども。経済的なお金の収支です。昨年度の水道水の給水の量や、北見市の水の使用量、一人あたりの使用水量がどう変わったかなど、その辺はどのような状況でしょうか。

伊藤課長 水量に関するご質問ですけども、一人あたりの水量というのは申し訳ないんですけどもおさえてはいないんですけども、前年度の比較でいきますと、そこにも書いてありますけども、およそ26万立方メートル前年度より下がっているような状況でございます。その辺の詳しい分析というのはまだこれからになるので、大変申し訳ないんですけども、上下水道ビジョンで水量の需要の見込みなどをやっておりますけれども、その時の見込みの水量と比較しますと、大体その当時の見込みもこのくらい落ちるだろうというような見込みを立てておりますので、今のところはビジョンの見込み通りの水量となっているところでございます。以上でございます。

堀内会長 わかりました。そこらへんは、決算の数字と、水道事業としての収支が今日の会議のテーマですけども、水道事業全体としては、どれぐらい水を作って、どれぐらい水が消費されているか、といったようなそういう状況も把握することもとても重要だと思いますので、そういう情報も報告に入れていただけたらと思います。わかる範囲で結構です。

ほかに何かご質問はありますか。

天日乾燥ろ床の広い土地は、市で購入されたのですか。借りているのですか。

伊藤課長 市の土地で、購入してやっております。

堀内会長 年間 500 トンとか 2500 トンとか処理するのにいくらかかるのですか。

浦澤次長 トラックに運搬して、あとは産業廃棄物処理施設に持って行きますと、断水前後の時で、年間で 3000 万円から 5000 万円くらい経費を要したと記憶しております。

堀内会長 2500 トンを年間処理するのに 3000 万から 5000 万ということですか。

浦澤次長 そうですね、はい。

堀内会長 そうすると、今回 5 分の 1 になるということは、処理費用も 5 分の 1 になると。

浦澤次長 そうです。その通りです。

堀内会長 そうすると、計算では 5～600 万から 1000 万ぐらいの範囲になるということですね。

他に何かご質問等はございませんでしょうか。

小作委員 質問ではなくて、率直に数字を見た感想というか意見なんですけども、2 ページの上の表で、収益的収支が出て、結果的に 1 億 2000 万円の純利益です、というのは非常に評価できるんですけども、予算の段階で 6600 万の純損失ということで、中身見ますと理由の増減内容のところ、主に営業費用がかなり予算よりは削られていると。内容的には入札の差金だとか緊急対応時の費用が少なかったということが原因のように書かれていますが、経費を予算に比べて削れたというのは非常に評価できるんですけども、逆に考えると、予算の段階でもう少し絞り込める部分があったんじゃないかなという風には少し考えておりますので、今から予算のこと言っても仕方ないんですけども、予算を立てる段階でもう少し絞り込めた部分があったんじゃないかというのが私の感想です。

堀内会長 ただいまの副会長のご意見について事務局の方から何かコメントはありますか。

伊藤課長 ただいま、小作委員からの貴重なご意見なんですけれども、予算積算に際して、基本的に積算する際の大きなパターンとして 2 パターンありまして、燃料費でありますとか、光熱水費、小はの修繕につきましては、各年度の平均でありますとか、そういう部分でおおよその計画を立てて予算組みいたします。また、委託料、施設の運転管理、保守管理、オーバーホール、また、決まった修繕につきましては、あらかじめ決まったその積算単価によって、それぞれ積算しながら予算組みをしていくわけでございます。その委託料やなにかの部分につきましては、それぞれ予算組みをしてその中で入札を 1 本 1 本やってくわけですので、その都度入札差金が積み上がってしまって、結果的には、委託料でいいますと約 5000 万円ぐらいの執行残という形で残ってしまいます。また、修繕料につきましては、今年はそんなに大きなものがなかったので 2200 万円くらい、残っているような状況であります。予算を絞りこむというのは全くごもっともなお話なんですけれども、その時の気象状況や入札の状況、人件費や資材費、そういうものが高騰するような状況もありますので、ある程度多少の枠を見込みながらやっていかないと、急に予算が足りなくなってしまったらそこで執行ストップというわけにはいきませんので、多少そういう部分も見させていただいた中で、もうちょっと絞り込むように考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

堀内会長 ありがとうございます。今の話ですけども、今のような趣旨であれば、この予

算の2ページの上の、水道事業費用の予算の予備費というのをきちっと、たとえば費用に対する1%、2%だとかそういった形で計上して、実際の見積もりはカツカツでやるとかそういう運用はできないんでしょうか。

伊藤課長 基本的にはそういう手法もあるんでしょうけれども、積算単価の中でいけばカツカツの状況を見ているわけです。ただ、入札差金とかそういう部分については、私どもの予想できる範囲が、難しい部分がございますので、こういう積算方法をとっております。

堀内会長 他に何かご質問等はございませんでしょうか。

小関委員 汚泥の再利用というお話をされて検討しているという内容だったんですけども、一度視察させていただいたときに、汚泥が肥料になるというのを1度見させていただいたことがあったんですけども、どのような再利用をしているのかお聞きしたいのですが。

高木係長 浄水場の汚泥につきましては、平成17年から18年頃にかけて、堆肥として有効利用できるかどうかの検討しているところなんですけども、結果としては堆肥としてはそぐわないというような判定結果が出ておまして、今後は違った分野で活用できるような形で検討していくつもりではあります。小関委員が言われてたのは浄化センターの堆肥かと思われまます。以上でございます。

堀内会長 他に何かありませんでしょうか。それでは進めさせていただいてよろしいでしょうか。

それでは、引き続きまして平成25年度決算見込みの概要のうち、下水道事業について説明をお願いいたします。

伊藤課長 【<審議会資料>1.平成25年度決算見込みの概要について(P3~4)により説明】

二俣係長 【<プロジェクター>合流式下水道緊急改善事業について説明】

堀内会長 ありがとうございます。ただいまの下水道事業に関する決算の見込み、及び主要な合流式の下水管を分流式に変えるという事業を10年くらい続けてきたということで、その状況についてご説明がありましたけれども、今の下水道事業関連についてご質問等ありましたらお願いします。

尾崎委員 ちょっとお聞きしたいんですけども、下水道事業の中でいろいろな課題というのはあるんだろうと思うんですけども、いま局として一番大きなものはなんだとおられるのか、また、その課題を解決していくために、どのようなことをされているかというのを聞かせていただきたいなと思います。

伊藤課長 ただいまのご質問の、下水道事業の一番の課題は、昨年からご審議させていただきましたけれども、下水道事業につきましては先ほどもご説明いたしましたけれども、資金不足が25年度末でも約20億円残っているという状況でございますので、その解消を早期に図るというのが一番の経営課題と考えております。また、それと同時に管渠、終末処理場につきましても施設が老朽化しておりますので、それら

の更新をあわせてその中で、どのように、なるべく料金に反映させないような形をとりながらどうやって進めていくかというのが大きな課題だと考えております。

尾崎委員

わかりました。決算監査はもう終わったんですか。

伊藤課長

これからです。

尾崎委員

その中で監査報告の中でも出てくるんだろうと思うんですけども、課題をひとつひとつ解決していただきたいという風に思っております。以上です。

堀内会長

他に何かありますでしょうか。

小作委員

今ご質問があったことに対する回答で、資金不足をまず解消するというお話がありました。4 ページの一番下の資金残高を見ますと、24 年から 25 年度にかけて 4 億 1700 万資金不足が解消されたという、これ単純計算でいくとまだ 20 億ほど資金不足が出てますけども、単純計算でいくとあと 5 年ほどで解消できるのかなという単純な見方なんですけども、その辺は企業局の方ではどうご覧になっているのでしょうか。

伊藤課長

昨年度からご協力いただきまして、料金に対するご答申を審議会の方からいただいたんですけども、その中におきまして、今回の 26 年度からの 4 年間の中でなんとか資金不足の方の解消を目指せというご答申をいただきましたので、それに則りまして、なんとか努力してまいりたいと考えておりますけれども、汚水分の赤字につきましては、なんとか 4 年間の中で解消の方向に今努力しているところでございますけれども、雨水分の一般会計につきましては、一般会計の状況がありますので一概には言えないんですけども、それよりちょっとかかってしまうのかなという風に考えております。ただし、使用料に関しての部分については、なんとかこの 4 年で目途をつけるようにこれから努力してまいりたいと考えております。以上です。

堀内会長

他に何か。

山田委員

先週の金曜日の伝書鳩の 1 ページにあったことなんですけど、下水管からポコポコ音がしたときにすぐ知らせてというような大きな見出しがありまして、今ご説明いただいた合流式の管に関する事で、逆止弁のことが書かれてありまして、こういう音を聞いた時には、予算の関係上最優先するので、すぐに知らせてほしいというようなことが書かれてあったんですけど、非常にこれを見るとアバウトというか、ポコポコした音ってどういう風に聞こえたらいいのかとか、外のマンホールからとか、また家の敷地の中からとかいろいろな観点があると思うんですけども、そこら辺のところをもう少し、実生活に基づくことですので詳しくお聞きしたいと思ってまいりました。

黒川課長

下水道課長の黒川です。伝書鳩に載った記事なんですけども、実際そのポコポコっていう音っていうのは、例えばトイレ、水洗トイレの溜まっている水が、合流本管に一気に雨が降って水量が増えるものですから、空気が圧縮されて押されてくる、本管から住宅と繋がっている取付管を伝って空気が上がってきて、ポコッとエアが上がってくる、という状況になっております。そのほとんどが、先週金曜日から土日をはさんで、今日も午前中何件かお客様から情報を頂いておりますけども、ほと

んどがそういう音に関するものでした。実際、そういう音に関してはホームページでもうたっているんですけども、集中豪雨が来たときにはできるだけ水を流すということを抑えてほしい、一気に雨が降っている状況の時には、本管からのエアが走ってくるかもしれませんので、様子を見ながら使ってほしいという風に我々も思っているんですが、現在もホームページには書いてありますけれども、広い形では皆様の方には周知されていないと思います。合流区域はまだ残っておりますので、実際お知らせいただいた方っていうのはやはり中ノ島・南町、そういった合流区域からの情報を頂いておりますから、そういうことを我々は検証しながら、しっかりと役に立てていきたいと思っております。

山田委員 その音がどういう音かっていうのは、素人ですからなかなかわからない部分もあるんですけど、そういう音がしてなんかおかしいなと思ったら、すぐにお電話して問い合わせしてみるっていう風にして構わないということですね。これを読む限り、とりあえず言ってくださった方から最優先で行くというような、そういう風に書いていると思うんですけども。

黒川課長 実際、直接お話を聞いてみないとどういう状況だったのか、音がどんな感じだったのかっていうのはわからない部分もありますので、実際、今回情報をいただいたお宅については、一軒ずつ調査・聞き取りをして、同じ路線でも感じ方の違いもあるでしょうから、そこら辺はしっかりとらえていきたいと思っております。

山田委員 わかりました。あともう一つよろしいでしょうか。広報きたみ6月号なんですけれども、これの15頁に、6月1日～6月7日は水道週間ですということで小さな記事が出てたんですけども、詳しくは企業局総務課の方にお電話してというかたちだったんですが、ほとんど目立たない記事だったんですが、インターネットとかを中心にこれに関してはアピールするとか、以前でしたら、結構広告を入れたりいろんな形でもう少しアピールしていたと思うんですけども、こういうのはやはり予算の関係で、こういう地味な形で出しているということではよろしいのでしょうか。

清水次長 今ご意見のありました水道週間につきましては、6月1日から7日ということで、全国的に取り組まれているものでございます。企業局も過去からいろんな方法をやりながら進めてまいりました。広報、あとは伝書鳩への広告、ホームページ等にも、PR不足だと言われてしまえばそうかもしれませんけれども、その中でも事業としては、過去、保育園2か所に回って、我々が持っている給水タンク車を使いながら水の大切さとかそういうものもPRしていますし、あとはうちの工事指定店のほうの協力をいただきまして、それぞれ施設の水道のパッキンなどの点検をして、社会貢献をいただいているというような形であります。ただ、やはり予算の関係上もありまして、どんどん、縮小ではないんですけども、どういう風にPRしていくか、また、9月10日は下水道の日ということがありまして、それは次どういう形で取り組んでいこうかということでもあります。年間通してやはり我々もいろいろな事業をしているものですから、水道週間・下水道の日というのがございますので、そういう1年間の計画も考えてこれからやはり大切に使って頂くためのPRを進めていきたいと考えております。よろしく願いいたします。

山田委員 わかりました。ありがとうございました。

堀内会長 他に何かありますでしょうか。

今の山田委員のご質問の中にあっただすけども、下水道は重力で流していますので、集中豪雨で水が大量に流れると逆流することがあります。ですので、逆流するとその時にゴボゴボ言ったり、場所によってはトイレから下水が逆流して吹き出すというようなことが起こりうるわけで、実際にそういうところがあると聞いています。さっきの伝書鳩の記事なんですけども、要するに市としてはそういうのがあった時に知らせてくださいということなんですか。そういうことが言いたいんですか。市民はどうしたらいいんですか、そういうことがあったときに。

黒川課長 場所にもよると思いますが、本当はかなり集中豪雨の時には、排水を一時しないで様子を見てほしいというのが、我々の望みです。

堀内会長 それは音が出たときに対する対応だと思うんですけども、例えばゴボゴボというのは合流式の下水管に限られた話なんですけども、そういうところの改善の一つの資料なり参考にするために、そういうことがあったら市の方に届けてもらいたいとかそういうことではないんですか。そういう趣旨ではないんですか。

今局長 私からお答えしたいと思います。今、課長の方からご説明しましたように、大雨、とくにかなり強い雨が降ると一時的にそういう現象が起こるということで、我々としてもどの場所でそういうことが起こるのか、どの程度の雨が降ったら起こるのか、あるいは、どういう現象が起こるのかということもきちんと押さなければいけません。後々の整備についても、その辺のことをきちんと把握した上で整備をしていく必要があるということがありますので、ぜひそういう現象が起きた場合は、我々の方にご連絡を頂ければというように考えております。

堀内会長 他に何かご質問はありますでしょうか。

合流式の下水道の事業なんですけども、今北見市さんはこの事業が始まる前と比較して、この分流式に変えた事業を行うことによって、合流式がどれくらい分流式に変わったんですか。だいたい全部変わったと。

今局長 それも私からご説明いたします。合流区域はもともと 875 ヘクタールございました。そのうち分流化、いわゆる污水管と雨水管の 2 条管にしたという区域が 396 ですか。ですからまだ約 500 ヘクタール弱ですね。

堀内会長 後 480 ぐらい残っていると。だから、まだ半分以上残っているということなんですね。それを全部分流管にするという今後の計画は何か考えていますか。

今局長 国の指示としては 10 年間、平成 25 年度までに、公共用水域に与える負荷を全地域が分流化であると同様の負荷に下さいということで、それを平成 25 年度までにやりなさいということで、それぞれ今回の計画の中では、分流化にする区域もありますし、先ほど担当の方から説明させていただきましたけども、滞水池というところに一時的に貯めて、それを改めて処理をして流すということによって、全部分流化になったと同様の汚濁負荷量ということに今の状態ではなっております。ただ、計画上はそうなっていますけれども、それが実際にどうかということ、今年の検証ということでコンサルに委託をして、検証をするという計画になっ

ております。全面分流化につきましては、今のところそういう形へもっていくということにはなっておりません。ただ今後、浸水被害ですとかそういうこともありますので、今後も検討をしていかなければいけないのかな、という風には考えております。

堀内会長 こういう事業の説明あったときに最初にそういう話をさせていただけるとすごくわかりやすいと思うんですね。全体として出てくる汚濁負荷を削減するのに、分流式によってその割合を削減して、分流化できないものについては雨水滞水池で貯めて処理する、そういう計画だということですね。

今局長 はい、そうです。

堀内会長 逆に言えば全部分流化しちゃうと雨水滞水池をせっかく作ったのが無駄になるということですね。

今局長 そういうこともありますけども、別の用途にもなり得ますので、そういうところも含めて今後検討していく、ということになるのかなと思います。

堀内会長 総事業費が84億7000万円と書いてあるんですけども、実際に市で負担するのはどれくらいになるんですか。国からはどれくらい補助が出ているんですか。

今局長 負担につきましては、国の負担が2分の1です。起債が50パーセント、国庫補助金が50パーセントという形になります。

堀内会長 他に何かご質問はございますか。よろしいでしょうか。

無いようでしたら進めさせていただきたいと思いますが、議題につきましては以上となります。

最後の、3番その他ですけれども、事務局から何かありますでしょうか。

清水次長 それでは、事務局から1点だけご報告をさせていただきたいと思いますが。現在の皆様の上下水道審議会の委員の任期につきましては、平成24年9月1日から平成26年8月31日までの2年間となっていますことから、次期の審議会の委員の選出に向け、現在準備を進めているところでございます。一般公募委員では、現在7月7日～8月1日の期間で募集を行っておりまして、また自治区推薦者等の選出も含め、委員の決定の時期につきましては、現在のところ8月の中ぐらいを予定しているところでございます。以上ご報告をさせていただきます。

堀内会長 他に委員の先生方から何かご質問・ご意見等がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして本日の上下水道審議회를終了いたします。

清水次長 大変お疲れ様でございました。ありがとうございます。それでは最後になりますけれども、先ほど説明させていただきましたが、本審議会の委員の皆様は8月31日までとなります。現在の任期中に次の審議会の開催予定がございませんので、最後に会長から一言ご挨拶をお願いしたいと思います。

堀内会長 皆様、本日が本任期中の最後の委員会ということで、この2年間、本当にお忙しい中積極的にご参加いただきましてありがとうございました。今このような場で市民のみなさん、各層の方のご意見を、市民の非常に身近な上下水道行政に活かしていくということは、とても大事なことだと思います。その面において非常に大きな

ご貢献をいただきましたことに、大変感謝、御礼を申し上げたいと思います。また、この任期中には水道料金の改定等、通常の任期に比べて非常に忙しい、検討課題の多い2年間でもあったという風に思います。今回、今日の決算を見ましても、比較的順調に推移しているようで、下水道事業含む経営の改善の方向にも目処がつけば、大変、持続可能な安定した北見の上下水道の行政というものができるとは思えないかなと思います。あらためまして、皆様方のこの2年間のご貢献に感謝を申し上げて、最後のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

清水次長 ありがとうございました。それでは最後に公営企業管理者から一言ご挨拶を申し上げます。

渡部管理者 本日はお疲れ様でした。ありがとうございます。ただ今ございました通り、皆様方には2年間大変お世話になり、ありがとうございました。特に昨年は、今会長からもお話がありましたとおり、水道料金、それから下水道使用料についてということで、慎重な審議をいただきまして、答申を頂いた、この答申を尊重して、一部下水道使用料につきましては改定もさせていただき、この10月からということで進めさせていただいているところでございます。皆様方には今後におきましても、上下水道事業を始めとしまして、市政全般にわたっていろいろな角度からご意見を頂きたく思っているところでございます。今後も市政発展にご支援いただけますようお願い申し上げます、お礼の言葉に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

清水次長 以上をもちまして本日の会議を終了させていただきたいと思います。大変お疲れ様でございました。ありがとうございます。

終了 15時13分